

氏名	塩澤 信良
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4382 号
学位授与の日付	平成 23 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Lung function and blood markers of nutritional status in non-COPD aging men with smoking history: A cross-sectional study (喫煙歴を有する非 COPD 中高年男性の肺機能と血中栄養指標の関連性に関する横断研究)
論文審査委員	教授 荻野 景規 教授 三好新一郎 准教授 木浦勝行

学位論文内容の要旨

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の危険因子を有するが診断基準に達していない者の肺機能と栄養状態の関連に関する知見は少ない。本研究では、喫煙歴のある 50~80 歳男性で、参加同意を得た COPD 未診断の地域住民および外来 COPD 患者の計 65 名を解析対象とし、肺機能と血中栄養指標の関連を検討した。対象者には身体計測、空腹時採血を行い、肺機能指標として 1 秒率を測定した。気管支拡張薬吸入後の 1 秒率が 70%未満の者を COPD と判定した。また質問票を用いて生涯喫煙量や栄養素等摂取量などを推計した。潜在的交絡因子を調整した解析の結果、赤血球数、ヘモグロビン、総蛋白などと 1 秒率の間に有意な正の直線的関連性が認められた。赤血球数と総蛋白については、非 COPD 群における 3 分位群間の差の方が、非 COPD 群の最低 3 分位群と COPD 群の差よりも大きかった。エネルギーおよび 3 大栄養素の摂取量と 1 秒率の間には有意な直線的関連性は認められなかった。本結果から、喫煙歴のある中高年男性では COPD 発症前でも、肺機能低下に応じて栄養障害傾向や貧血傾向を呈する可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

肺機能と栄養状態の関連を検討する目的で、喫煙歴のある 50~80 歳の男性慢性閉塞性肺疾患(COPD)未診断の地域住民を、非 COPD 群(48 名)として 1 秒率の高い順から 3 群 (高位 3 分位群、中位 3 分位群、低位 3 分位群) にわけ、COPD 外来患者 (17 名) と共に計 65 名を対象として、肺機能 (スパイロメトリーによる 1 秒率) と身体計測、血中栄養指標、管理栄養士による食事調査、自記式質問票による生活習慣等との関連性を、共分散分析及び重回帰分析で検討した。結果として、交絡因子を調整すると、赤血球数、ヘモグロビン、総蛋白質、血清アルブミン、血清 LDL-c、食事による鉄摂取と 1 秒率の間に、有意な正の直線的関連性を認めた。さらに、赤血球数と総蛋白質については、非 COPD 群間における差の方が、低位非 COPD 群と COPD 群との差よりも大きいことが判明した。すなわち、本研究は、症例数が少なく、結論を得るには問題はあるが、喫煙歴のある中高年男性では、COPD 発症前でも、肺機能低下と栄養障害及び貧血とが関連していることを示唆するものであり、予防医学的に価値ある業績である。

よって、本研究者は、博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。